

『新型コロナウイルス感染症対策について』

2022 年 11 月 28 日
東京経営短期大学
事務局長 渡辺広二

文部科学省より「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の変更が行われましたとの事務連絡がありました。この事務連絡には、大学における感染対策の徹底について周知の依頼がありました。

11月現在、新規感染者数は増加傾向にあり、感染拡大の恐れもあり、寒さが厳しくなるこれからの季節は、新型コロナウイルス第8波と季節性インフルエンザの同時流行の警戒を強めるよう指摘されています。

感染対策の注意事項	感染対策の具体的な対処方法
季節性インフルエンザの同時流行も想定した体調不良者の欠席徹底	- 登校の際は入口で必ずマスクを着用し、検温、消毒に努める。 - 発熱に限らず、咽頭痛や咳、頭痛等、普段と異なる症状がある場合は登校を控えるとともに外出を控える。教職員についても同様に対応する。
効果的な換気の徹底	- 換気設備があれば、常時換気を行う。 - 窓開け換気については、窓とドアを対面で開ける、複数の窓を開けるなどして空気の流れを作る。 - 換気回数を毎時2回以上、例えば30分に1回以上、数分間程度窓を開放する。(室内の空気が全て外気と入れ替わる回数) - 冬場における換気の場合、室温を18℃以上に保てるように暖房との両立をはかる。一方向の窓を少しだけ開けて常時換気する方法も室温の変化が抑えられる。 - 教室に加え、学生食堂、学生ホール、ラウンジ、更衣室、通学用のバス車両においても換気を心掛け、密閉・密集・密接の3密を避ける。

(文科省対処方針の内容: https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryoku/kihon_r_041125.pdf)

また、ワクチン接種については、「新型コロナウイルス感染症の感染予防、発症予防、重症化予防が期待されるため新型コロナワクチンの接種を進め、またインフルエンザの重症化予防を目的にインフルエンザのワクチン接種を進めていく」と呼びかけられています。本学でも新型コロナワクチン接種を推奨しています。また、インフルエンザのワクチン接種について、学生の皆さんも積極的に接種を受けるようにしてください。

さらに、厚生労働省より、マスクの着用の考え方が示されました。基本的な感染対策としてのマスク着用の考え方に変更はありませんが、マスクは場面に応じて適切に着脱することが周知されました。屋外では、人との距離(目安 2m)が保てず、会話をする場合を除き、マスクを着用する必要はありません。屋内でのマスク着脱については、距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合を除き、マスクの着用をお願いします。

本学は今後も感染拡大防止に努め、安心して学生生活を送れるよう、感染症対策を継続して講じていきます。自分自身を守るため、家族や友人など大事な人を守るため、感染拡大防止にむけた適切な行動をお願いします。

また、陽性反応者となったり、濃厚接触者となった場合は HP のポータルサイトの連絡事項から、2022/9/5 付けの「コロナウイルス感染症に関する報告フォーム」で報告をしてください。

引き続き感染拡大防止対策にご理解・ご協力をお願いします。